

「2025 年 大阪・関西万博」に関する活動

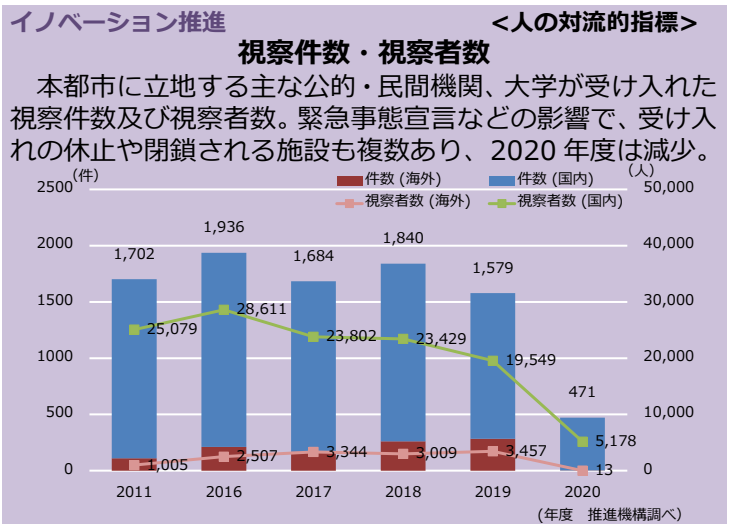
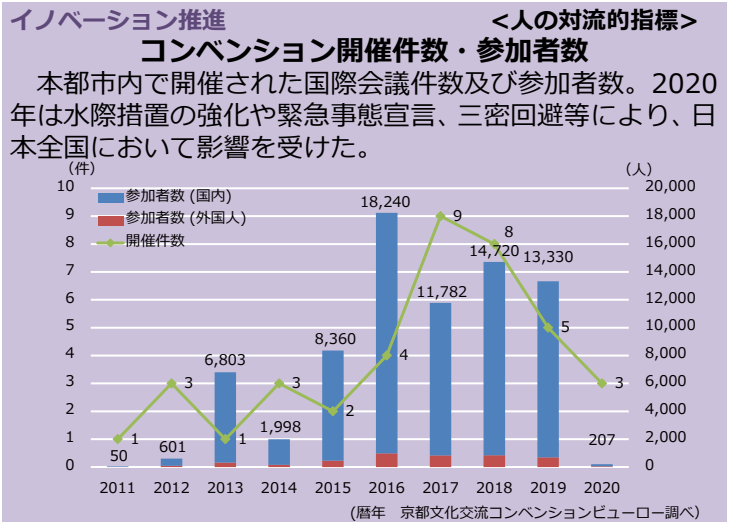
ーけいはんなに立地する地球環境産業技術研究機構（RITE）の活動ー

RITE では、「2025 年大阪・関西万博におけるネガティブエミッション技術等の在り方を示すコンソーシアム」を立ち上げ、2025 年大阪・関西万博におけるカーボンニュートラルの実現に向けた検討や、※DACCS 技術を含めたカーボンリサイクル技術の見せ方についての検討を進めています。

また、DAC、CCS の実証設備やメタネーション施設の設置に向けた検討も行っています。

※ DACCS：大気中 CO2 直接回収・貯留

(RITE 提供)



グローバルスタートアップ支援プログラム

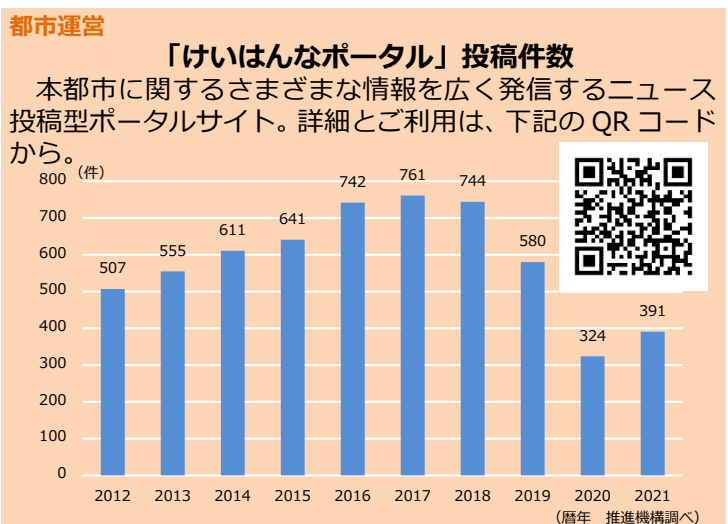
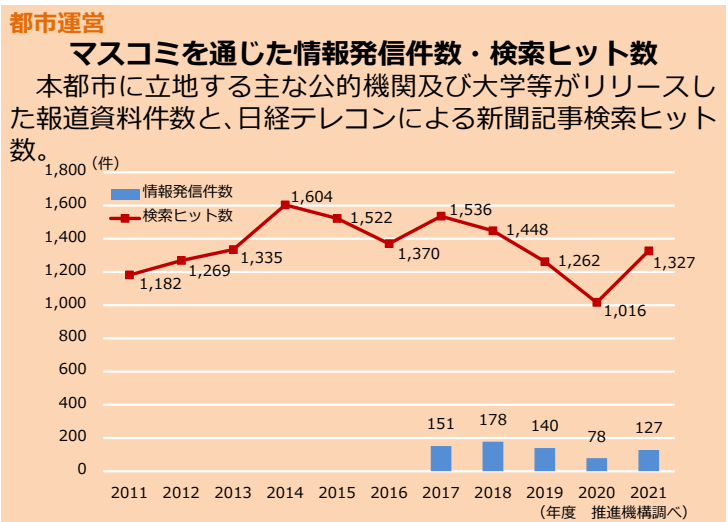
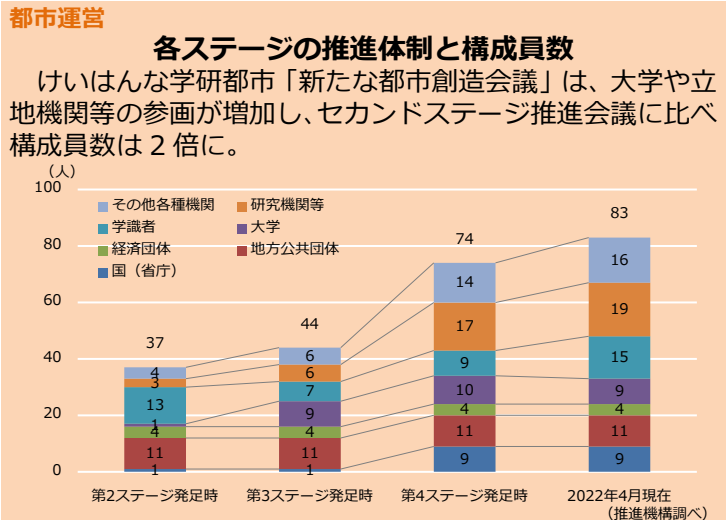
「KGAP+」(Keihanna Global Acceleration Program Plus)

株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) が構築し、けいはんなリサーチコンプレックス推進協議会との連携のもと 2019 年度より年に 2 回実施。

世界各地のイノベーション推進機関との連携で事前選考と地域予選が行われ、選出された各国のスタートアップ企業は、けいはんなでのピッチイベントで顔を揃え、企業や投資家にプレゼンを行う。その後、約 3 カ月にわたり、企業とのマッチングや海外展開に向けた支援を受ける。

2021 年度は第 5 期と第 6 期を実施し 8 カ国から 31 社が参加。累計の参加数は 10 カ国 79 社、マッチング成立は 80%。

(ATR 提供)



SDG s 関連指標

持続可能な開発目標 (SDG s) を達成するために示された我国の具体的施策にかかる指標に準じた、本都市内における該当指標。

100 万人当たりの研究者  
本都市内では、  
'21.4.1 現在で 1.3 万人。  
<SDGs ターゲット：9.5>

海外との科学技術協力協定

本都市では、  
'22.3 末現在で 178 件。  
<SDGs ターゲット：17.6>

立地適正化計画

本都市 8 市町のうち、  
'22.3 末現在で 2 市町が作成。  
<SDGs ターゲット：11.3, 11.a>

けいはんな学研都市「新たな都市創造プラン」

けいはんなインジケーターマップ 2022

けいはんなインジケーターマップとは  
多様なステークホルダーによって推進されている「新たな都市創造プラン」の取組成果を、「けいはんな学研都市」全体として俯瞰的に評価する指標群。  
関係する事業主体が成果を共有し、国内外へアピールすることで、都市全体の価値を高めるとともに、取組成果を関係機関それぞれの事業活動の新たな展開に活かしていくための取り組み。  
2020 年以降、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が世界的に拡大。水際対策を始め、あらゆる感染拡大防止対策が講じられているが、今なお終息の目処は立たず、けいはんな学研都市に於いても様々な活動に影響を及ぼしている。

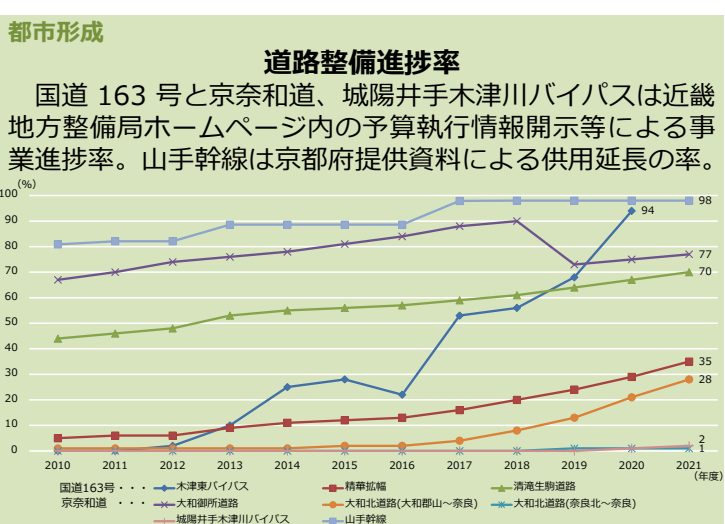
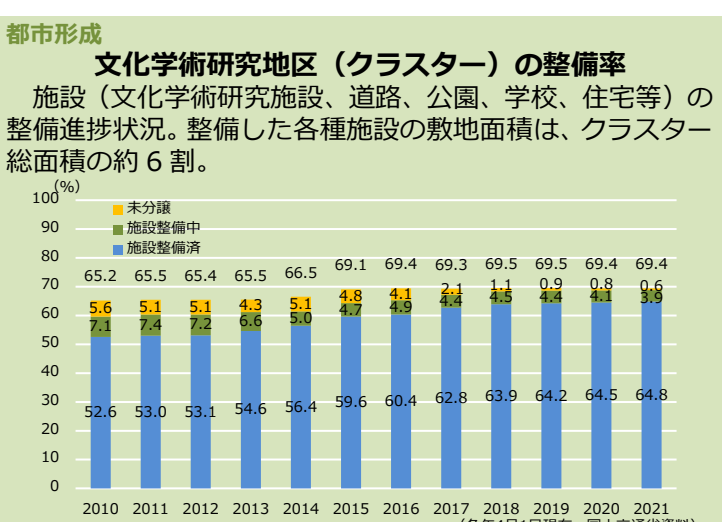
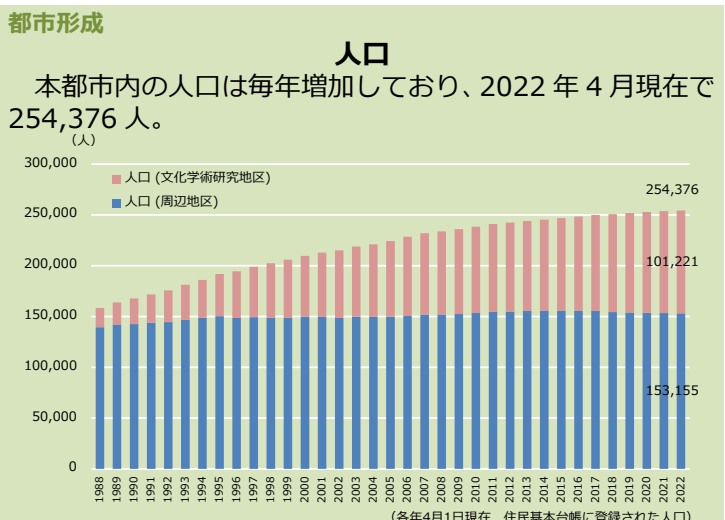
けいはんな学研都市の基礎情報  
【都市の位置】  

けいはんな学研都市

【各クラスターの整備状況】(2022.4 現在)  
学研都市全域 15,000ha  
内文化学術研究地区 3,600ha (12 クラスター)  

事業完了地区  
事業中地区  
未着手地区  
土地利用調整中

編集・発行 公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構 (KRI) 2022.5



国道 163 号精華拡幅

交通混雑の緩和や交通安全の確保、けいはんな学研都市をはじめとする京都府南部地域の活性化を目的として、交通量が多く慢性的な渋滞が発生している約 4.6Km の区間で、現況の 2 車線から 4 車線に拡幅する工事を実施。

第二京阪道路や京奈和自動車道など、広域交通拠点との連結による周辺地域へのアクセス向上も期待できる。

バイパス終点部の工事状況 (2022 年 3 月時点) (近畿地方整備局 提供)



